

「堺市のヒートアイランド調査報告とその対策」 シンポジウム

■日時:2007年3月31日(土)13:30-17:00

■場所:大阪市立大学杉本キャンパス学術情報センター1階

プログラム

司会 (大阪市立大学・西岡真稔)

【13:30~14:45】

開会(大阪市立大学・中尾正喜)

1. 2006年夏の定点観測と移動観測による気温測定結果(堺市・藤田謙治)
2. ヘリコプターからの地表面温度分布の測定結果(大阪府立大学・吉田篤正)
3. 大阪府における堺市の気候的特徴
ー自動車による気温の広域移動観測をとおしてー(大阪市立大学・鍋島美奈子)

【14:50~15:50】

4. 堺市中心街における散水と打ち水の効果(環境省・佐藤郁太郎)
5. 公園からの冷気にじみ出し現象測定結果(神戸大学・竹林英樹)
6. 堺市都市環境気候図の試作
ー気候に配慮した都市づくりの支援を目指してー(神戸大学・田中貴宏)

【16:00~17:00】

パネルディスカッション(司会:神戸大学・森山正和)

(パネリスト:東京大学・大岡龍三、大阪府立大学・北宅善昭+発表者、他調整中)

閉会

主催:日本建築学会近畿支部熱環境部会都市環境分科会

共催:大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム、日本ヒートアイランド学会、
神戸大学21世紀COEプログラム「安全と共生のための都市空間デザイン戦略」

第3回都市環境シンポジウム
「堺市のヒートアイランド調査報告とその対策」

主 催：日本建築学会近畿支部熱環境部会都市環境分科会
共 催：大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム
共 催：日本ヒートアイランド学会
共 催：神戸大学COE「安全と共生のための都市空間デザイン戦略」

日 時：2007年3月31日（土）13.30-17.00

場 所：大阪市立大学杉本キャンパス学術情報総合センター1階

主 旨：昨年の4月1日、第2回都市環境シンポジウム「大阪2005年夏・ヒートアイランド調査の報告」を行いました。これに引き続き、本年は2006年8月に行われた堺市のヒートアイランド調査の報告を中心に、第3回都市環境シンポジウムを開催いたします。西日本の他都市と同様に堺市は暑さの大変厳しい都市であります。堺市にあるアメダス観測所では昨年の夏に最高気温が6回も日本全国で一位となっています。一方、堺市には古墳群やため池などの素晴らしい自然が残されています。このシンポジウムでは、報告される貴重な調査結果をヒートアイランド研究の専門家とこの問題に関心のある方々が議論してその現象を確認し、それを踏まえつつ堺市の効果的なヒートアイランド対策を考えて行きたいと思えます。関心のある多くの方々にお集まり頂けることを願っています。

（プログラム）

司 会： 大阪市立大学・西岡真稔

（13.30-14.45）

開 会： 大阪市立大学・中尾正喜

1．2006年夏の定点観測と移動観測による気温測定結果（堺市・藤田謙治）

2．ヘリコプターからの地表面温度分布の測定結果（大阪府立大学・吉田篤正）

3．大阪府における堺市の気候的特徴

- 自動車による気温の広域移動観測をとおして - （大阪市立大学・鍋島美奈子）

（休 憩）5分

（14.50-15.50）

4．堺市における打ち水、散水による気温低減効果の測定結果（環境省・佐藤郁太郎）

5．公園からの冷気にじみ出し現象測定結果（神戸大学・竹林英樹）

6．堺市都市環境気候図の試作 - 気候に配慮した都市づくりの支援を目指して -

（神戸大学・田中貴宏）

（休 憩）10分

（16.00-17.00）

パネルディスカッション（司 会：神戸大学・森山正和）

（パネリスト：東京大学・大岡龍三、大阪府立大学・北宅善昭、

大阪市立環境科学研究所・榎元慶子、大阪大学・鳴海大典 + 発表者）

閉 会